

社協だより

— Council of Social Welfare —

7月15日、認知症サポーター養成講座を実施しました。この講座は、認知症を正しく理解し、地域で認知症の方や家族を温かく見守る方を増やし、認知症になっても住み続けることのできる町づくりに役立つことを目指しています。当日は13人が受講しました。

今回の講座では、理学療法士の杉谷 定信さんから

認知症の方々の気持ちや症状、認知症の方々への接し方および予防のあり方などさまざまな視点でお話をいただきました。受講者からは、「認知症であってもなくても、人としてのあり方を改めて感じました」「今までの知識がたくさん間違っていたことに気づきました」「地域に出た際には習ったことを役立てて人にも伝えたいと思います」等の声が寄せられました。



福祉教育(総合学習)支援を実施しました

勢門小学校3年生を対象に福祉教育(総合学習)支援を実施しました。今年も地域の専門の方を招いて、体験型の講座を行いました。児童たちはどの子も真剣な表情で話を聞き、実際に体験することで、思いやりの心を深める貴重な体験となりました。



●アイマスク体験

何もみえなくて怖かったけど、声をかけてもらって安心した



●手話講座

自分の名前の手話を知れてうれしかったです



●車いす体験

だんさがある場所がかいじよするとききんちょうしました

地域サロン・たすけあい活動報告

社会福祉協議会では、ボランティアや福祉協力員の皆さんとともに、ひとり暮らしなどの高齢者の健康づくり・仲間づくり・閉じこもり防止を目指し、地域サロン・たすけあい活動を推進しています。活動の一部を紹介します。

いきいきサロンしょうかい(庄区)

講師に増井 ちあき先生を招き「椅子ヨーガセラピー」を行いました。その名の通り椅子に座って行うヨガで、リラックスしながら座ったまま体を動かして筋肉に刺激をあたえ、体を伸ばしたり緩めたりしました。



とても気持ち良かった。椅子に座ってできるから、家でも続けよう!

いきいきサロン田中(田中区)

講師にJoy Spaceさんを招き、体操と脳トレ、歌唱を行いました。うまくできないところもありましたが、先生から「成功することが目的ではなく、挑戦することが大事」だと聞き、失敗しながらも楽しんで行いました。最後には、皆で歌を歌い、脳にも心にも体にも刺激がたくさんある時間となりました。



難しいところもあったけれど、楽しかった♪みんな集まって人と話すと元気が出るね!

第19回 日赤健康生活支援講習会

「人生100年時代」と言われるようになって久しくなりました。高齢期は加齢により身体の機能が低下してくるため事故を起こしやすくなります。高齢者が不慮の事故で亡くなる原因には溺水、窒息、転倒、熱傷、交通事故等がありますがその多くは家の中で発生しています。それらの対処法と一緒に学びませんか。

【講習内容】高齢者に起こりやすい事故の予防

【日時】令和8年10月22日(木)10時~12時

【場所】オアシス篠栗2階 ボランティア(団体活動)室

【対象】町内在住の人

【講師】日本赤十字社指導員

【締め切り】9月30日(水)

【主催】篠栗日本赤十字老人看護奉仕団「ふれあい会」

【申し込み・問い合わせ】篠栗町社会福祉協議会



香典返しとしてご寄付ありがとうございます

社会福祉協議会へ次の方々からご寄付がありました。厚くお礼申し上げます。いただいたご芳志は、社会福祉事業に有意義に活用させていただきます。



香典返しとして

●柳池 一成さま (高田区)

遺族 池田 鈴子さま

●河邊 宏巳さま (新町区)

遺族 河邊 浩幸さま

●城戸 洋章さま (田中区)

遺族 城戸 真弓さま

(7月受け付け分)



社会福祉法人

篠栗町社会福祉協議会

オアシス篠栗内2階 [問い合わせ] TEL 947-7581



ホームページ

SNS

社会福祉協議会SNS更新中

Instagram



X(エックス)



Facebook



日々の事業の様子などを掲載しています!

